

2018 年 5 月 11 日

三井海洋開発株式会社
三井物産株式会社
株式会社商船三井
丸紅株式会社
株式会社三井 E&S ホールディングス

ブラジル沖合プレソルト層メロ鉦区向け

超大水深対応 FPSO 備船事業を三井海洋開発、三井物産、商船三井、丸紅及び三井 E&S の
5 社で推進

三井海洋開発株式会社（本社：東京都中央区、社長：宮崎俊郎、以下「三井海洋開発」）、三井物産株式会社（本社：東京都千代田区、社長：安永竜夫、以下「三井物産」）、株式会社商船三井（本社：東京都港区、社長：池田潤一郎、以下「商船三井」）、丸紅株式会社（本社：東京都中央区、社長：國分文也、以下「丸紅」）及び株式会社三井 E&S ホールディングス（本社：東京都中央区、社長：田中孝雄、以下「三井 E&S」）の 5 社は、三井海洋開発が推進しているブラジル沖合メロ（Mero）鉦区向け FPSO（注 1）1 基の長期備船事業（以下「本案件」）に対して三井物産、商船三井、丸紅及び三井 E&S が出資することに合意し、本日付で関連諸契約を締結しました。

今回の合意は、三井海洋開発が設立済のオランダ法人 Libra MV31 B.V.（以下「MV31 社」）に三井物産、商船三井、丸紅及び三井 E&S が出資参画し、5 社で本案件を共同推進するものです。MV31 社は、ブラジル国営石油会社である Petróleo Brasileiro S.A.（「ペトロブラス」）が率いる Libra（リブラ）コンソーシアムと 2017 年 12 月 14 日に 22 年間の長期備船契約を締結済みです。

完工後に“FPSO Guanabara MV31”と命名される本案件の FPSO は、2021 年よりブラジル沖合の Libra（リブラ）ブロックにあるメロ鉦区の開発に投入される予定です。リオデジャネイロ市南東方沖合約 180km に位置する同鉦区は、海底下約 5,000m のプレソルト層（岩塩層直下の層）にある海底油田の一部であり、本案件の FPSO は水深約 2,100m の海上に係留されます。

本案件は、三井海洋開発、三井物産、商船三井、丸紅及び三井 E&S が 5 社共同で取り組む 5 件目のブラジル向け FPSO 備船事業となります。

注1) Floating Production, Storage & Offloading System : 浮体式海洋石油・ガス貯蔵積出設備

<FPSO 概要>

原油生産能力	18 万バレル／日
ガス生産能力	424 百万立方フィート／日
原油貯蔵能力	140 万バレル
係留方式	スプレッド・ムアリング (水深 2,100 メートル)

<出資比率>

三井海洋開発株式会社	20.1%
三井物産株式会社	32.4%
株式会社商船三井	20.6%
丸紅株式会社	17.6%
株式会社三井 E&S ホールディングス	9.3%

<各社問い合わせ先>

■ 三井海洋開発株式会社

総務部

TEL : 03-5290-1200

FAX : 03-5290-1505

■ 三井物産株式会社

広報部 報道室

TEL : 03-3285-7596

FAX : 03-3285-9819

■ 株式会社商船三井

コーポレートコミュニケーション部 広報グループ

TEL : 03-3587-7015

FAX : 03-3587-7705

■ 丸紅株式会社

広報部 報道課

TEL : 03-3282-4260

FAX : 03-3282-2331

- 株式会社三井 E&S ホールディングス
経営企画部 広報室

TEL : 03-3544-3147

FAX : 03-3544-3036